



2018年証券アナリスト第1次試験（秋試験）

解答速報！

2018/10/12 現在

【証券分析とポートフォリオ・マネジメント】

第1問（15点）

問1 C 問2 A 問3 C 問4 A 問5 A 問6 C 問7 B 問8 A
問9 A 問10 D 問11 B 問12 D 問13 B 問14 A 問15 B

第2問（30点）

I

問1 A 問2 B 問3 D 問4 C 問5 B 問6 D

II

問1 E 問2 D 問3 C 問4 A

III

問1 C 問2 D 問3 A 問4 C 問5 C

第3問（30点）

I

問1 C 問2 A 問3 B 問4 D 問5 A 問6 B 問7 A

II

問1 C 問2 D 問3 B 問4 D

III

問1 E 問2 C 問3 B 問4 D

第4問（35点）

I

問1 B 問2 B 問3 B 問4 E 問5 D 問6 A 問7 D

II

問1 C 問2 D 問3 B 問4 B 問5 B 問6 E

III

問1 C 問2 E 問3 B 問4 A 問5 A

この解答速報の著作権は、TAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。

TAC

第5問 (30点)

I

問1 D 問2 C 問3 B 問4 C 問5 A

II

問1 B 問2 D 問3 D 問4 E 問5 A 問6 C

III

問1 A 問2 B 問3 D 問4 C

第6問 (40点)

I

問1 C 問2 C 問3 C 問4 A 問5 C

II

問1 A 問2 B 問3 A 問4 B 問5 D

III

問1 E 問2 E 問3 C 問4 A 問5 C

IV

問1 D 問2 D 問3 A 問4 D 問5 D

この解答速報の著作権は、TAC（株）に帰属するものであり、無断転載・転用を禁じます。

なお、この解答速報は、TAC 独自の見解に基づくものであり、正解であることを保証するものではありません。また、後日情報を更新する場合がありますので、ご質問などの受付はいたしかねます。

この解答速報の著作権は、TAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。



2018 証券アナリスト 1 次試験（秋）

「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」

過去 4 回の問題数・配点は以下の通り。ここしばらく、この形式は全く変わっていない。

2017 年（春）～2018 年（秋）

問 題	分 野	2017 年 （春）	2017 年 （秋）	2018 年 （春）	2018 年 （秋）
第 1 問	日本の証券市場	15 問 (15 点)	15 問 (15 点)	15 問 (15 点)	15 問 (15 点)
第 2 問	企業のファンダメンタル分析	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)
第 3 問	株式分析	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)
第 4 問	債券分析	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)
第 5 問	デリバティブ分析	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)
第 6 問	ポートフォリオ・マネジメント	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)
合 計		98 問 (180 点)	98 問 (180 点)	98 問 (180 点)	98 問 (180 点)

2007 年のカリキュラム改訂以来、よい意味でのパターン化・易化が続き、2016 年春試験を境に一気にやさしくなった。今回もこうした傾向を受け、大半が過去に何度も繰り返し問われている「いつもの問題」で、目立った特徴はない。計算問題は全体として処理負担が軽減されており、正誤問題は理論や制度を大して知らなくても常識で正解を拾えるものが少なくない。ぽつりぽつりと目新しい問題や奇妙な問題があるが、これも毎度のパターン。この試験で満点を狙う意味はなく、多少取りこぼしたところで大した痛手にはならないはずである。やはり「いつもの問題」を確実に取ることに専念すべきだろう。

第 1 問：「日本の証券市場」は、回によって常識レベルで正解できるような問題が多いときと、協会通信テキストを詳細に読み込まないと正解にたどり着けないような問題が多いときがある。2016 年春以降、一貫して常識レベルで正解できるような問題が多くなっていたが、2018 年は春・秋ともいくらか難しくなった印象だ。とくに制度面の細かな知識を突かれると、これはなかなか厳しい。

TAC 証券アナリスト講師室